

??? 見分けがつくと、ちょっとうれしいかも ???



コシアキトンボ
お腹が、オスは白、メスは黄色。



チョウトンボ
ひらひらと舞います。



ショウジョウトンボ
体が真っ赤。羽根の付け根の所も赤い。



ノシメトンボ
よく見かけます。警戒心がうすくて、つかまえやすい。

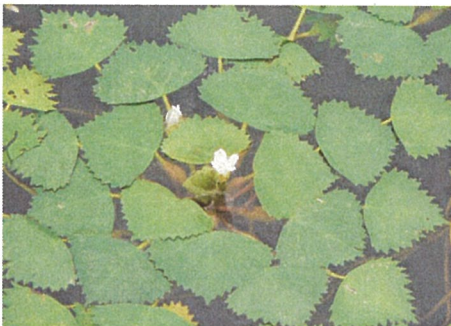


ウチワヤンマ
しっぽのところが、うちわの様な形。



ハグロトンボ
林のふちに多い。別名、カミサマトンボ。

??? 水草に花が咲いています ???



ヒシ (ヒシ科)
直径1cm程の白い花が咲きます。花が咲き終わると、ヒシの実を実らせませす。ヒシの実は、水栗ともよばれ、なかなかの美味です。



ハゴロモモ (スイレン科)
直径1cm程の白い花が咲きます。北米原産の外来種です。ペットショップで、カボンバとかキンギョモの名で販売されています。



タヌキモ (タヌキモ科)
直径1.5cm程の黄色い花が咲きます。食虫植物で、葉の脇に小さなツブツブが付いていて、これにプランクトンが入ると、溶かして養分とします。

??? 沼に浮かぶフヨフヨは ???



オオマリコケムシ

体長1.5mm程の個虫という小生物が集まって、寒天質を分泌して大きな群体となったものです。群体は夏から秋にかけて成長して、休芽という1mm程の次の世代を放出すると、冬にむけて温度が低くなると死んでしまいます。

ちなみに、さわっても大丈夫です！

アメリカ東部原産の生物で、日本では1972年に確認されました。御所沼では、3年前から見られるようになりました。

学術的には、触手動物門苔虫(こけむし)綱掩喉(えんこう)目ヒメテンコケムシ科に属する淡水産小動物だそうです。